

ロックルⅡ型（大型張りブロック）
施工マニュアル

2023年3月

株式会社高見澤

ロックルⅡ型（大型張りブロック）

目的

本施工マニュアルは工事を円滑に行い、施工者の施工技術によりその性能を確保し、より安全で耐久性に優れた法面保護工を構築するための基本事項をまとめたものである。

適用範囲

本書は、ロックルⅡ型(大型張りブロック)の構築について述べられたものであり本製品の施工にのみ適用する。

施工前の一般事項

現地の土質や地理条件に即した設計図書・施工計画書・工程表を作成し、事故防止のためこれらを各関係機関に提出し、地上及び地下構造物、樹木や地下水、交通機能などに損害もしくは機能の阻害を生じないよう事前に協議し、その対策を決定する。

また、工事に伴う騒音や振動の防止のため施工機械の選定には適切な措置を講じ、付近の生活環境の保全に努める。

1. 基礎工

- ① 所定の寸法どおり床堀をおこないます。
- ② 沈下が発生しないように、基礎材を十分転圧します。
- ③ 基礎コンクリート打設においては、最下段ブロックを正確に敷設するため表面の仕上げを入念に行ってください。

2. 法面整形

- ① 法面を所定の勾配に整形する。

3. ブロック納入

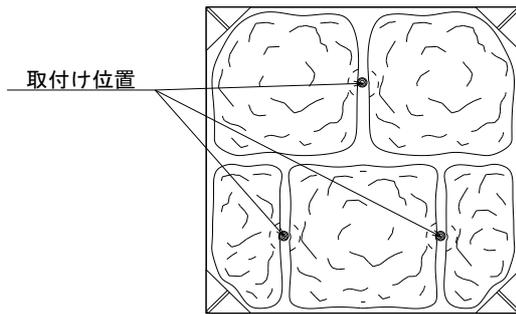
- ① スtockヤードはなるべく、整地された平場に設けて下さい。

4. ブロック敷設

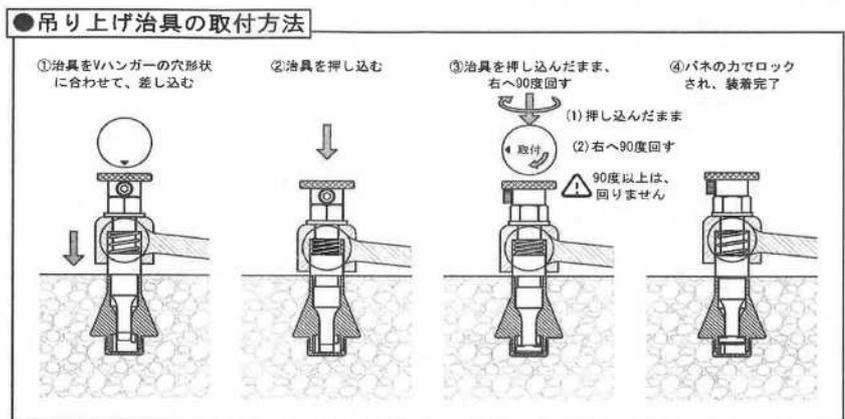
- ① 法面に裏込め材を敷設する。

※曲線区間等で出来た製品同士の隙間から、背面土砂が吸い出される恐れのある場合には、吸出し防止材を設置する。

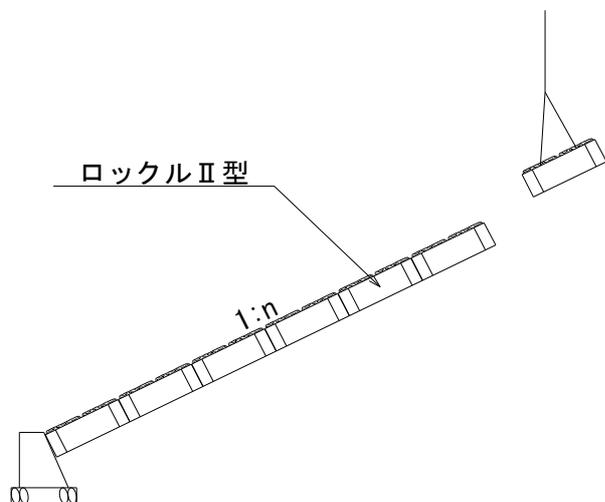
- ② ブロックの所定の位置に専用吊金具（3ヶ所）を取り付ける。



専用吊金具
(NV20×70PTS)

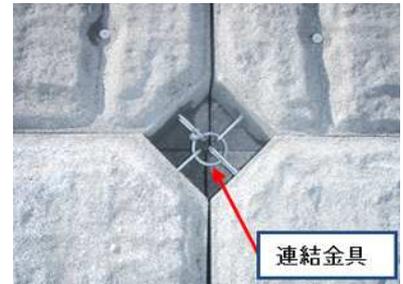
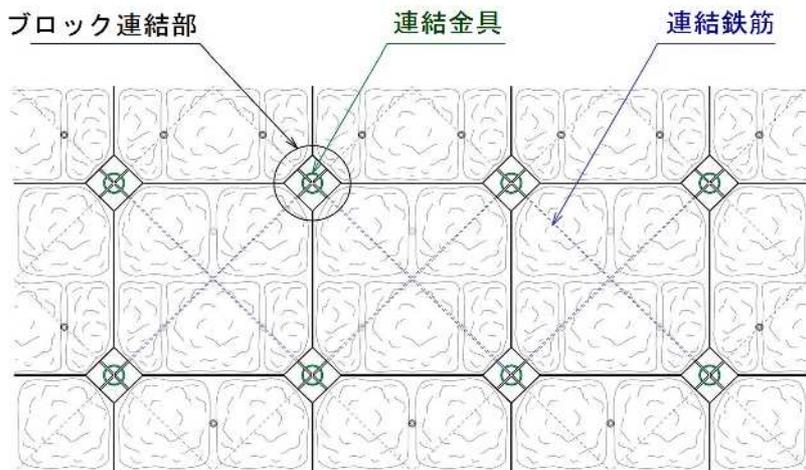


- ③ 製品を吊る場合は、ワイヤーの角度を 60° 以内にし、法面の角度に合わせて製品が傾くようにチェーンブロック等を利用し、前後の長さを変えて吊る。
(製品吊り上げ時には絶対にブロック下部に入らないで下さい。)
- ④ 製品は、高さを調整しながら所定の位置に据付ける。



5. 連結

- ① 指定された所定の位置に、連結金具を用いて連結する。

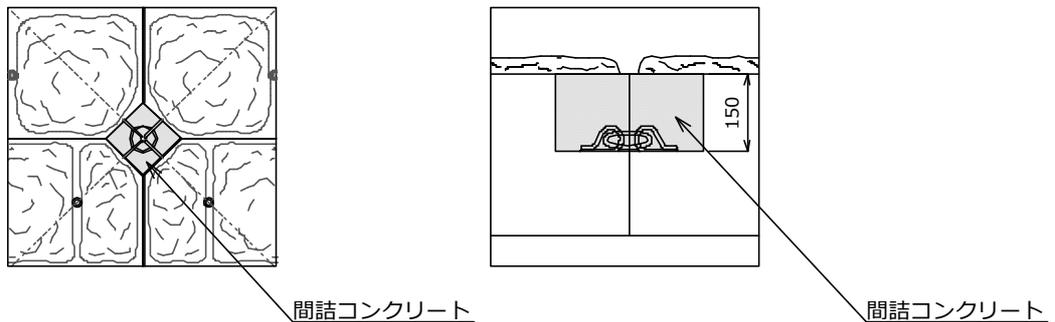


• 連結金具



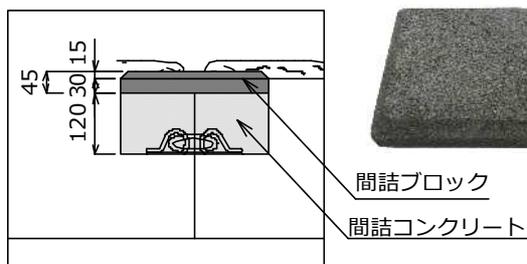
- ② 連結箇所は間詰コンクリートで仕上げるか、間詰ブロックを設置する。

● 間詰めコンクリートの場合

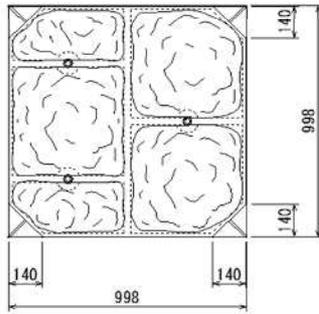


● 間詰めブロックの場合 (オプション品)

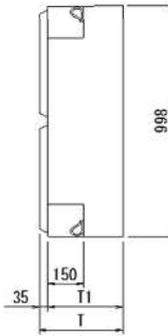
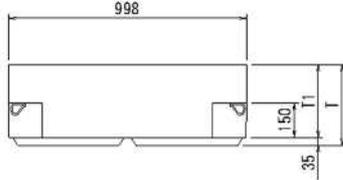
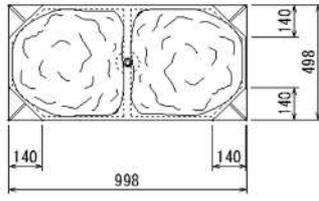
間詰めコンクリートを充填し、間詰めブロックを設置します。



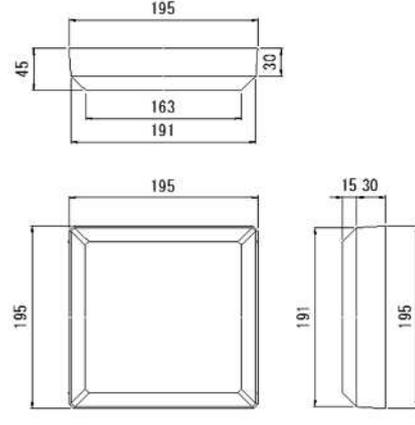
A 型



B 型



間詰めブロック



呼び名	寸法(mm)		参考質量(kg)		備考
	T	T1	A型	B型	
350型(標準タイプ)	350	315	664	324	相面コンクリート
350型(緑化タイプ)	350	315	632	308	ポーラスコンクリート
385型(標準タイプ)	385	350	732	359	相面コンクリート
385型(緑化タイプ)	385	350	696	341	ポーラスコンクリート

名称	ロックルII型	
規格	規格	印
尺数	尺数	取付年月日
製造番号		
株式会社高尾澤		